

衆議院議員総選挙の意識調査（H29 衆院選）について

平成 30 年 4 月
山形県選挙管理委員会

1 目的

平成 29 年 10 月 22 日に行われた第 48 回衆議院議員総選挙について、有権者の投票行動を明らかにするとともに、政治と選挙に対する意識や関心などを探るために意識調査を行い、もって今後における効果的な選挙啓発のあり方を探る。

当該調査は、平成 8 年 10 月 20 日に行われた第 41 回衆議院議員総選挙から山形県独自で実施しており、今回で 8 回目の調査となった。

2 調査方法

山形県内に在住の有権者 1,000 名（市町村の選挙人名簿から無作為抽出）に対して調査を実施し、うち 438 名が回答（回答率：43.8%）

3 調査結果（主なもの）

（1）投票に行かない人がいることへの問題意識について

- 政治に関心がある有権者は 78.0%
- 今回の総選挙に関心がある有権者は 80.1%
- 投票率低下について問題意識を持っている有権者は 36.3%（前回：46.0%）
- 「別にかまわない」と「やむを得ない」と考える有権者は 53.7%（前回：43.1%）
⇒政治や選挙に関心がある有権者が多い一方で、投票に行かない人がいることについての問題意識が薄い有権者が増えてきている。

（2）投票率上昇の対策について

- 選挙に関する教育や啓発活動に力を入れるべきと考える有権者は 32.4%
- 選挙制度の改正等による投票環境の整備に力を入れるべきと考える有権者は 38.4%

（3）家族の投票状況について

- 今回の衆院選で投票した有権者のうち、家族全員が投票に行った者は 75.1%
- 今回の衆院選で投票した有権者のうち、家族と投票に行った者は 61.6%

衆議院議員総選挙についての意識調査

平成30年4月

山形県選挙管理委員会

衆議院議員総選挙についての意識調査

1 目的

平成29年10月22日に行われた第48回衆議院議員総選挙について、有権者の投票行動を明らかにするとともに、政治と選挙に対する意識や関心などを探るために意識調査を行い、もって今後における効果的な選挙啓発のあり方を探る。

2 調査対象

山形県内に在住の有権者 1,000名(市町村の選挙人名簿から無作為抽出)

(内訳)

地域別	村	山	491
	最	上	68
	置	賜	190
	庄	内	251
男女別	男		465
	女		535
年代別	18～19歳		15
	20～29歳		97
	30～39歳		122
	40～49歳		124
	50～59歳		137
	60～69歳		228
	70歳以上		277

3 調査時期及び方法

平成30年1月下旬にかけて、調査票を対象者に郵送し、対象者は記入した回答用紙を返信用封筒に入れ、県選挙管理委員会に直接返送する方法により実施

4 回答者数

438名(回答率 43.8%)

参考 前回(平成26年実施) 53.3%

(回答者数)






項目	回答者数	回収率	
年代別	18～19歳	5	33.3%
	20～29歳	24	24.7%
	30～39歳	39	32.0%
	40～49歳	45	36.3%
	50～59歳	65	47.4%
	60～69歳	118	51.8%
	70歳以上	132	47.7%
	無回答	10	
計	438	43.8%	

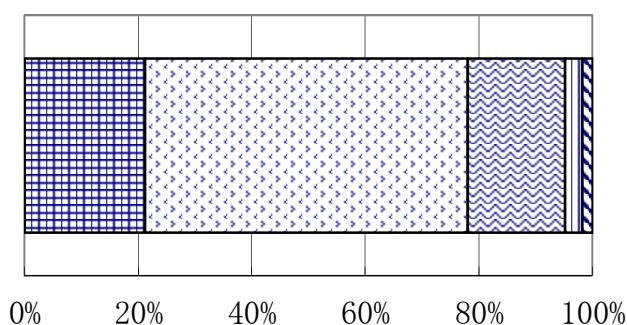
5 調査結果の概要

- (1) 政治に対する関心の程度・・・問1
 - 「政治に非常に興味がある」と「政治に多少興味がある」の合計は約8割となっている。
- (2) 今の政治に対する満足度・・・問3
 - 「やや不満である」と「かなり不満である」の合計は約5割となっている。
- (3) 投票率の低下について・・・問8
 - 「別にかまわない」と「やむを得ない」の合計が約5割を超え、「何らかの対策を講じるべきである」とする回答が約4割となっている。
- (4) 投票率低下の理由・・・問9
 - 「投票しても政治はよくなる」が約4割となっている。
- (5) 投票率上昇の対策・・・問10
 - 「選挙制度の改正などにより投票しやすい環境をつくるべき」が約4割、「政治や選挙に興味をもたせるように、教育や啓発活動に力を入れるべきである」が約3割となっている。
- (6) 投票に行った理由・・・問12
 - 「政治をよりよくするためには、投票することが大事」が約4割、「投票することが義務」、「支持政党や候補者がいた」がそれぞれ約2割となっている。
- (7) 誰と投票に行ったか・・・問13
 - 「家族で行った」が約6割、次いで「一人で行った」が約4割となっている。
- (8) 投票の参考としたもの・・・問22
 - 「新聞・テレビ報道」、「選挙公報」、「政見放送」、「個人(政党)演説会」の順に高い関心が寄せられている。
- (9) 明るくきれいな選挙は行われたか・・・問24
 - 「行われていた」、「わからない」という回答がともに約4割となっている。
- (10) 印象に残る啓発活動・・・問25
 - 「テレビ広告」が約4割、「新聞広告」が約3割、次いで「市町村の広報紙」が約2割となっている。
- (11) 住民票を異動するかどうか、異動する理由、しない理由・・・問28、29、30
 - 「住民票を異動する」が8割で、異動する理由として最も多いのは、「法令上しなければいけない」が約7割で、異動しない理由として最も多いのは、「必要性を感じないから」が約7割となっている。
- (12) 期日前投票制度の認知度と、同制度をどのような方法で知ったか・・・問31、32
 - 期日前投票制度の認知度については、「制度も投票方法も知っている」が約8割で、「制度は知っているが、投票方法は知らない」を合わせると9割以上となっている。また、制度をどのようにして知ったかという問いに対しては、「以前期日前投票をした」という回答が約5割となっている。
- (13) 投票所までの距離と交通機関・・・問35、36
 - 投票所までの距離については、「ちょうどよい」が約7割となっている。投票所までの交通機関としては「自家用車」が約7割で、次いで「徒歩」が約3割となっている。

衆議院議員総選挙に関するアンケート調査結果








問1 政治に対する関心の程度

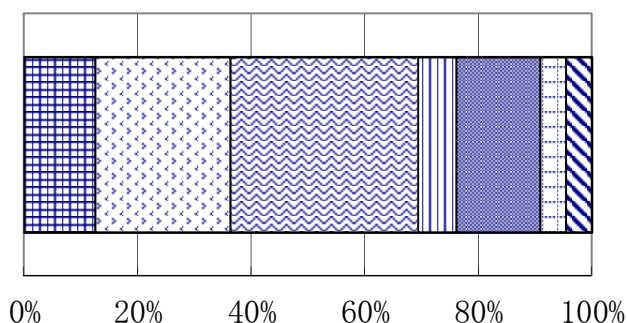
	非常にある	93	21.2%
	多少ある	249	56.8%
	あまりない	75	17.1%
	まったくない	13	3.0%
	無回答	8	1.8%



政治に対する関心の程度を尋ねたところ、有権者全体では、「政治に非常に興味がある」と「政治に多少興味がある」の合計が78.0%（前回：77.2%）となっている。





問2 政治に関心がない理由

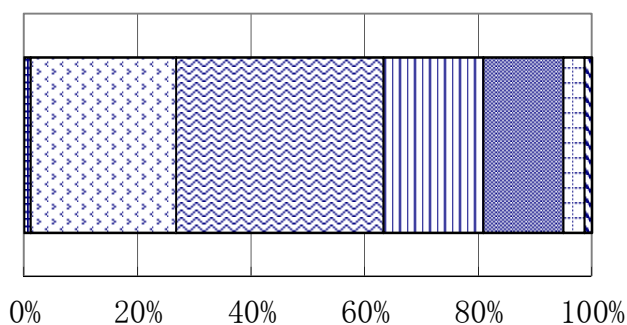
	暮らしに関係が薄い	11	12.5%
	意見が反映されない	21	23.9%
	むずかしくてわからない	29	33.0%
	考えるひまがない	6	6.8%
	関心がない	13	14.8%
	その他	4	4.5%
	無回答	4	4.5%



問1で「政治にあまり関心がない」又は「政治にまったく関心がない」と回答した人に、その理由を尋ねたところ、「政治はむずかしくてよくわからないから」が33.0%（前回：27.4%）、「個人の意見が、政治に反映されないから」が23.9%（前回：37.2%）の順となっている。




問3 今の政治に対する満足度

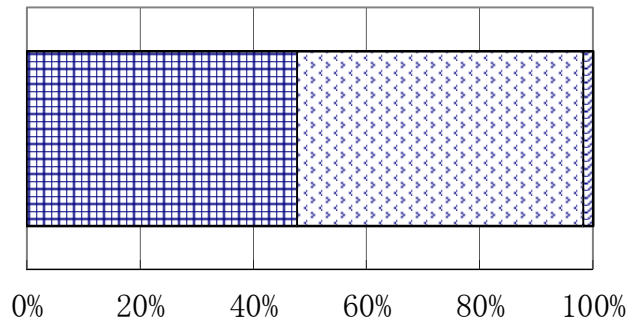
	かなり満足	5	1.1%
	まあまあ満足	112	25.6%
	やや不満	160	36.5%
	かなり不満	77	17.6%
	どちらでもない	62	14.2%
	わからない	16	3.7%
	無回答	6	1.4%



今の政治に対する満足度を尋ねたところ、「やや不満である」と「かなり不満である」が合計で54.1%（前回：66.6%）となっている。






問4 支持政党の有無

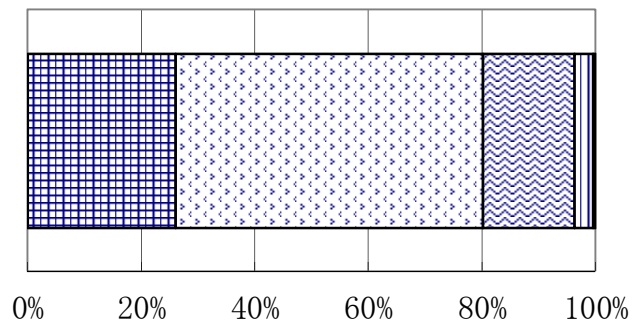
	ある	209	47.7%
	ない	221	50.5%
	無回答	8	1.8%



支持政党の有無について尋ねたところ、「支持政党がある」が47.7%（前回：45.2%）となっている。






問5 総選挙への関心度

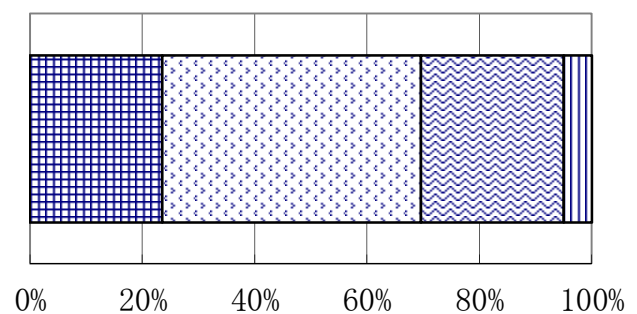
	非常にあり	114	26.0%
	多少あり	237	54.1%
	あまりなし	71	16.2%
	全くなし	14	3.2%
	無回答	2	0.5%



今回の総選挙について、どれくらい関心を持ったかを尋ねたところ、「非常に関心をもった」と「多少は関心をもった」が合計で80.1%（前回：63.4%）となっている。







問6 投票率への関心度

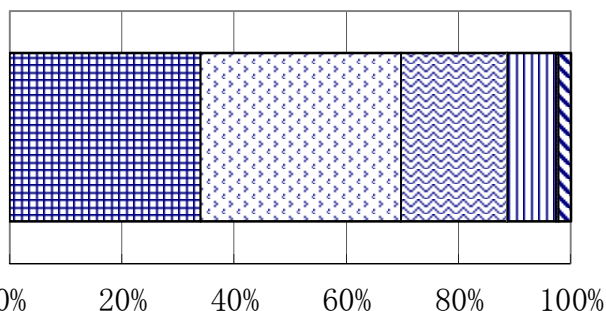
	非常にあり	103	23.5%
	多少あり	202	46.1%
	あまりなし	111	25.3%
	全くなし	22	5.0%
	無回答	0	0.0%



今回の総選挙の投票率の増減について、どれくらいの関心を持ったかを尋ねたところ、「非常に関心をもった」と「多少は関心をもった」が合計で69.6%となり、前回（67.2%）と同様の傾向を示している。







問7 選挙権について

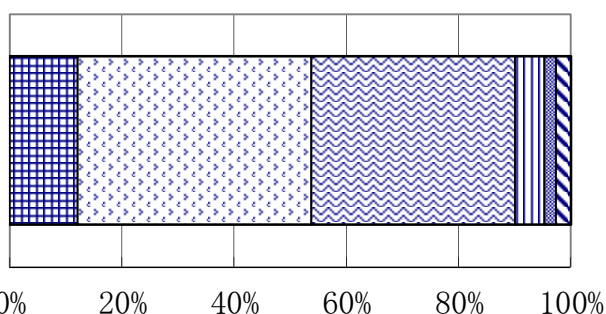
	投票は国民の義務	149	34.0%
	投票は棄権すべきでない	156	35.6%
	投票するしないは個人の自由	83	18.9%
	棄権も意思表示の一つ	38	8.7%
	その他	2	0.5%
	無回答	10	2.3%



選挙権(投票)についての考え方を尋ねたところ、「投票することは、国民の権利であるが、棄権すべきではない」が35.6%、「投票することは、国民としての義務である」が34.0%の順となっており、全体では、棄権すべきでないと考えている割合が69.6%と、前回(68.3%)と同様の傾向を示している。








問8 投票率の低下について

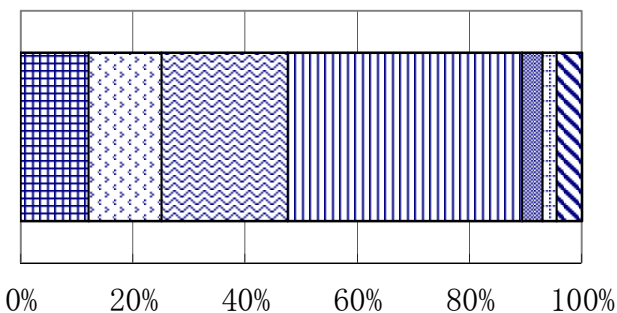
	別にかまわない	53	12.1%
	やむを得ない	182	41.6%
	なんとかすべき	159	36.3%
	その他	23	5.3%
	わからない	9	2.1%
	無回答	12	2.7%



近年の選挙における投票率の低下についてどのように思うか尋ねたところ、「別にかまわない」と「やむを得ない」の合計が53.7%(前回:43.1%)となっており、「何らかの対策を講じるべきである」の割合の36.3%(前回:46.0%)を上回り、前回の回答結果と逆転した。

問9 投票率低下の理由

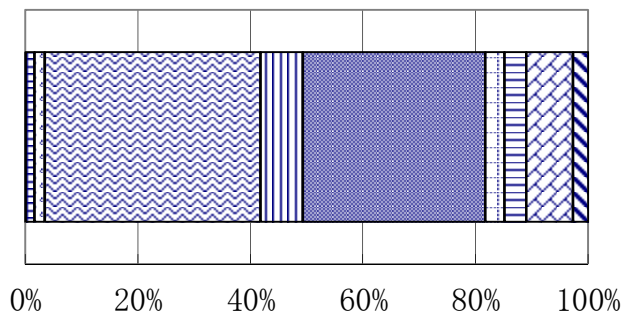
	政治より自分	53	12.1%
	支持できる政党や候補者がいない	57	13.0%
	政治不信や不満	98	22.4%
	政治はよくなるらない	183	41.8%
	その他	16	3.7%
	わからない	11	2.5%
	無回答	20	4.6%



投票率低下の理由を尋ねたところ、「投票しても政治はよくなるらない」が41.8%(前回:45.4%)、「政治への不満や不信のあらわれ」が22.4%(前回:21.0%)となり、前回と同様の傾向を示している。

問10 投票率上昇の対策

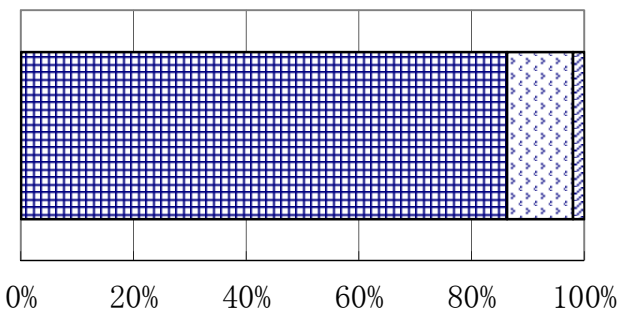
	棄権者に罰則	7	1.6%
	投票者を表彰	8	1.8%
	投票しやすい環境整備	168	38.4%
	選挙運動の自由化	33	7.5%
	教育啓発の強化	142	32.4%
	必要はない	15	3.4%
	その他	17	3.9%
	わからない	36	8.2%
	無回答	12	2.7%



投票率を上げるために、どのようなことを行うべきか尋ねたところ、「選挙制度の改正などにより、投票しやすい環境をつくるべき」が38.4%（前回:33.6%）、「政治や選挙に興味をもたせるように、教育や啓発活動に力を入れるべき」が32.4%（前回:27.4%）の順となっており、前回と同様の傾向を示している。

問11 総選挙での投票

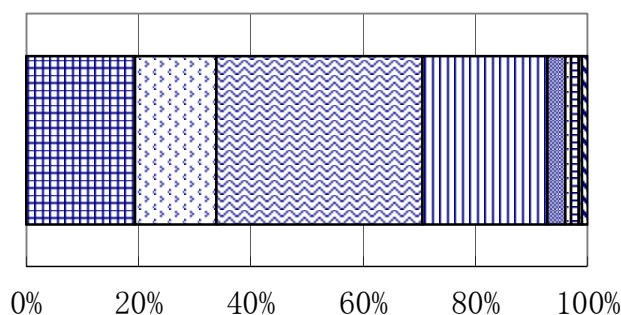
	投票した	378	86.3%
	投票しなかった	51	11.6%
	無回答	9	2.1%



今回の総選挙において投票したかどうか尋ねたところ、「投票した」が86.3%となり、実際の投票率より、本調査の回答者の投票した割合のほうが約22%高くなっている。






問12 投票に行った理由

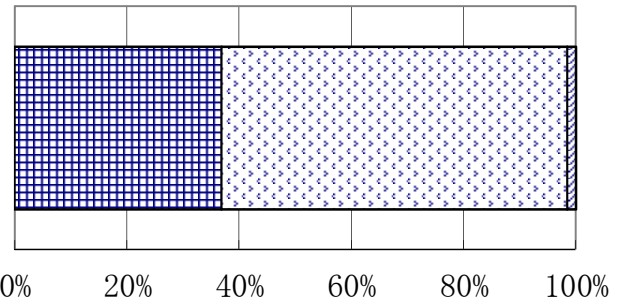
	支持政党や候補者がいた	73	19.3%
	政治への不満	55	14.6%
	投票することが大事	139	36.8%
	投票することが義務	84	22.2%
	知人等に頼まれた	12	3.2%
	投票日に予定がなかった	4	1.1%
	その他	5	1.3%
	わからない	2	0.5%
	無回答	4	1.1%



問11で「投票した」と回答した人に、その理由を尋ねたところ、「政治をよりよくするためには、投票することが大事」が36.8%（前回:36.7%）と最も多く、次いで「投票するのは、国民としての義務」が22.2%（前回:21.1%）、「支持する政党や候補者がいた」が19.3%（前回:17.3%）の順となっている。







問13 誰と投票に行ったか

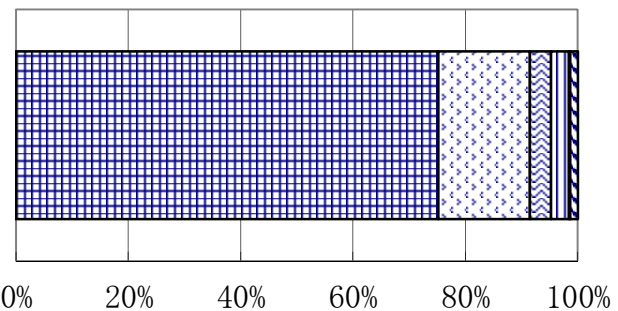
	一人で行った	139	36.8%
	家族で行った	233	61.6%
	友人で行った	6	1.6%
	その他	0	0.0%
	無回答	0	0.0%



問11で「投票した」と回答した人に、誰と投票に行ったかを尋ねたところ、「家族で行った」が61.6%と最も多く、次いで「一人で行った」が36.8%となっている。






問14 家族は投票に行ったか

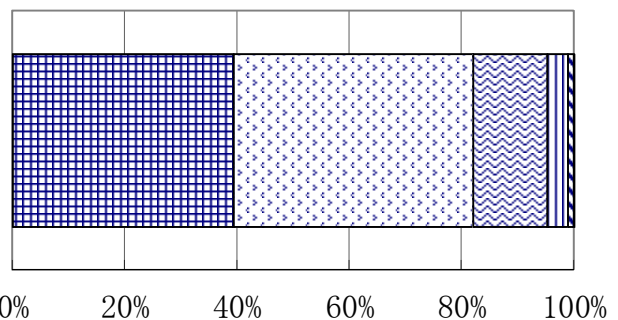
	全員行った	284	75.1%
	投票に行った者がいる	62	16.4%
	投票に行った者がいない	14	3.7%
	単身世帯である	12	3.2%
	その他	1	0.3%
	無回答	5	1.3%



問11で「投票した」と回答した人に、自分の家族の投票状況を尋ねたところ、「全員行った」が75.1%と最も多く、次いで「投票に行った者がいる」が16.4%となっている。

問15 候補者を選んだ動機(小選挙区選挙)

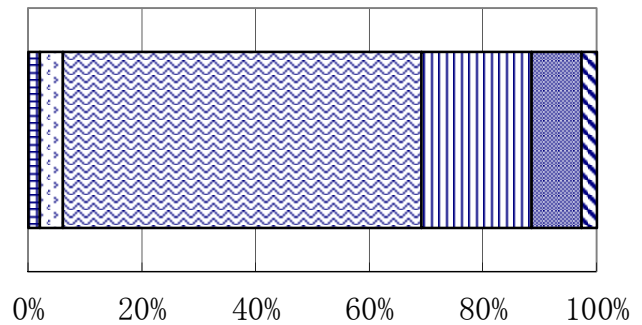
	政党を重視	149	39.4%
	候補者を重視	161	42.6%
	一概にいけない	50	13.2%
	わからない	14	3.7%
	無回答	4	1.1%



問11で「投票した」と回答した人に、小選挙区において候補者に投票する際に、「政党」を重視したか「候補者個人」を重視したかを尋ねたところ、「候補者個人」が42.6%(前回:39.1%)が最も多く、次いで「政党」が39.4%(前回:42.7%)となっている。

問16 政党を重視した理由(小選挙区選挙)

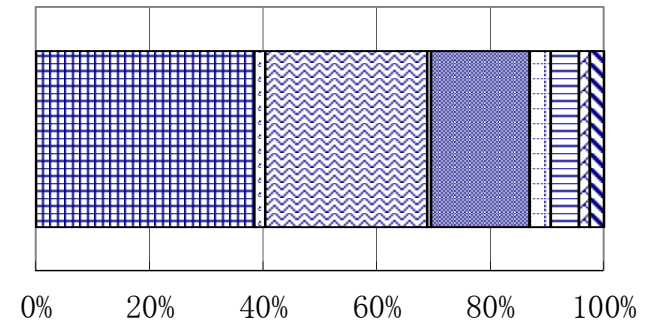
	私が党员	3	2.0%
	私が後援会員	6	4.0%
	政策を支持	94	63.1%
	その政党が好き	29	19.5%
	その他	13	8.7%
	わからない	0	0.0%
	無回答	4	2.7%



問15で「政党」を重視して投票したと回答した人に、その政党を選んだ理由を尋ねたところ、「その党の政策や活動を支持するから」が63.1%(前回:66.7%)と最も高く、前回と同様の傾向を示している。

問17 候補者を重視した理由(小選挙区選挙)

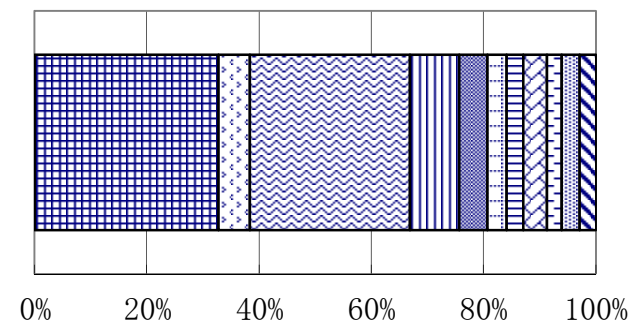
	人物が大切	62	38.5%
	私が後援会員	3	1.9%
	優れた人物	46	28.6%
	清潔な人物	1	0.6%
	安心できる人物	28	17.4%
	職場等のすすめ	6	3.7%
	その他	8	5.0%
	わからない	3	1.9%
	無回答	4	2.5%



問15で「候補者個人」を重視して投票したと回答した人に、その理由を尋ねたところ、「小選挙区選挙はとにかく人物が大切だから」が38.5%(前回:41.5%)、次いで「識見や実績の点で優れているから」が28.6%(前回:31.3%)となっている。






問18 政党を選んだ理由(比例代表選挙)

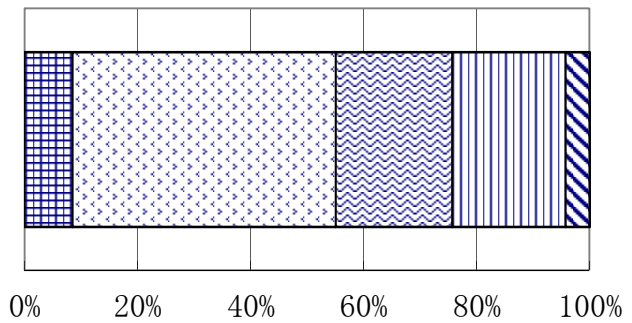
	政策や活動を支持	124	32.8%
	その政党が好き	21	5.6%
	他の政党よりまし	108	28.6%
	支持する人が党员	33	8.7%
	支持する人が名簿に登載	19	5.0%
	名簿登載者がよかった	13	3.4%
	職場などのすすめ	11	2.9%
	知人などのすすめ	16	4.2%
	その他	10	2.6%
	わからない	12	3.2%
	無回答	11	2.9%



問11で「投票した」と回答した人に、比例代表選挙において政党に投票する際に、その政党を選んだ理由を尋ねたところ、「その党の政策や活動を支持するから」が32.8%(前回:36.0%)、「他の党よりましだから」が28.6%(前回:30.4%)となっている。





問19 名簿は投票の判断材料に役立ったか(比例代表選挙)

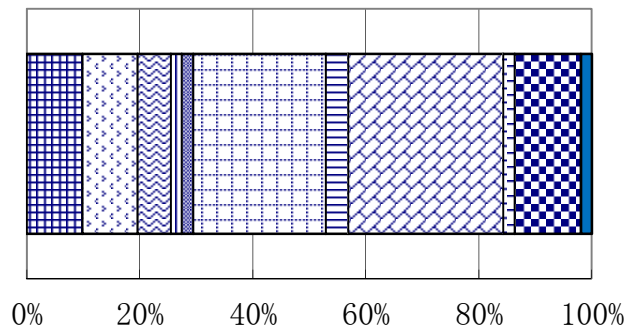
	大いに役に立った	32	8.5%
	ある程度役に立った	176	46.6%
	役に立たなかった	78	20.6%
	わからない	76	20.1%
	無回答	16	4.2%



問11で「投票した」と回答した人に、比例代表選挙において政党に投票する際に、候補者名簿がどの程度役に立ったのかを尋ねたところ、「大いに役に立った」と「ある程度役に立った」の合計は55.1%(前回:48.3%)となっており、前回と同様の傾向を示している。







問20 投票しなかった理由

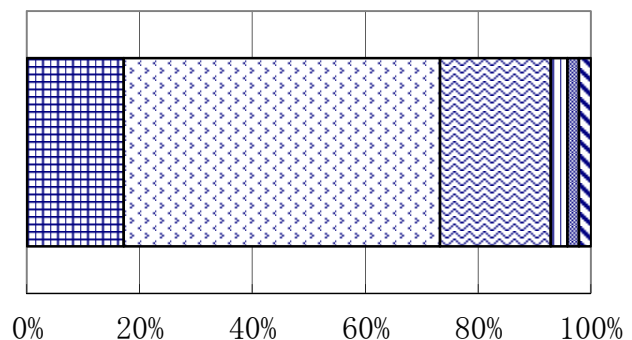
	用事があった	5	9.8%
	病気やケガ	5	9.8%
	面倒だった	3	5.9%
	関心がなかった	1	2.0%
	政策や人物がわからなかった	1	2.0%
	投票したい党や候補がない	12	23.5%
	投票しなくとも同じ	2	3.9%
	投票しても政治が変わらない	14	27.5%
	投票所の雰囲気がいや	1	2.0%
	選挙があることを知らなかった	0	0.0%
	その他	6	11.8%
	わからない	1	2.0%
	無回答	0	0.0%



問11で「投票しなかった」と回答した人に、その理由を尋ねたところ、「投票しても政治が変わらないと思ったから」が27.5%(前回25.4%)、「投票したい政党や候補者がなかったから」が23.5%(前回14.1%)、「その他の理由」が11.8%(前回18.3%)となっている。

問21 選挙運動への関心

	非常に関心あり	75	17.1%
	多少関心あり	246	56.2%
	あまり関心なし	86	19.6%
	全く関心なし	13	3.0%
	わからない	9	2.1%
	無回答	9	2.1%

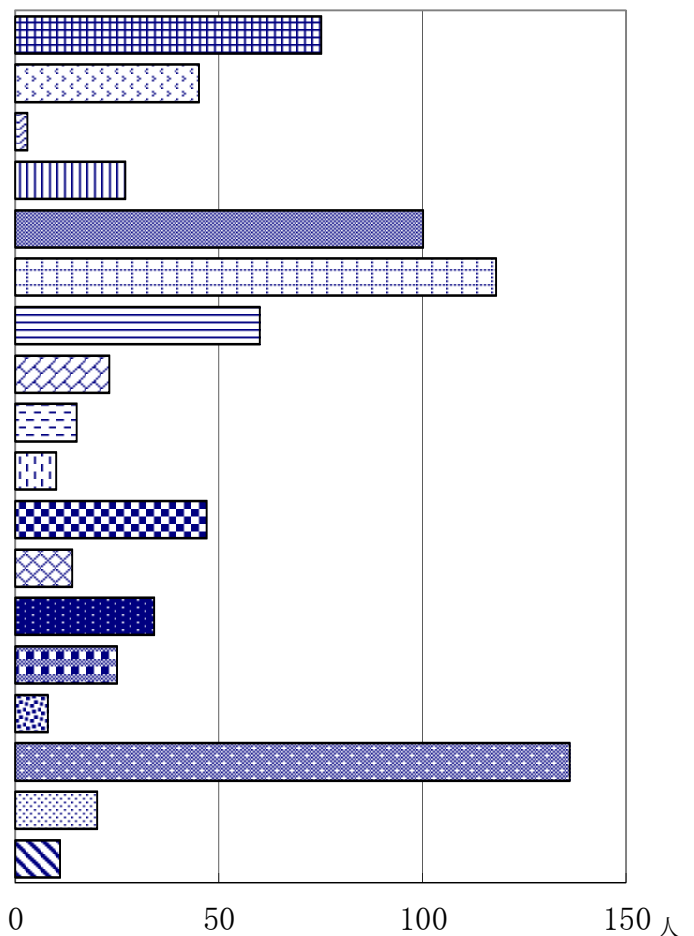


今回の総選挙において、候補者や政党が行った選挙運動にどれくらい関心を持ったか尋ねたところ、「非常に関心をもった」と「多少関心をもった」の合計が73.3%(前回:53.5%)となっている。

問22 投票の参考としたもの（複数回答）（※）

個人(政党)演説会	75	17.1%
街頭演説	45	10.3%
連呼	3	0.7%
新聞広告	27	6.2%
政見放送	100	22.8%
選挙公報	118	26.9%
マニフェスト	60	13.7%
ポスター・看板	23	5.3%
ビラ・はがき	15	3.4%
電話	10	2.3%
家族との話	47	10.7%
近所の評判	14	3.2%
知人などのすすめ	34	7.8%
仕事関係のすすめ	25	5.7%
町内会の推せん	8	1.8%
新聞・テレビ報道	136	31.1%
その他	20	4.6%
無回答	11	2.5%

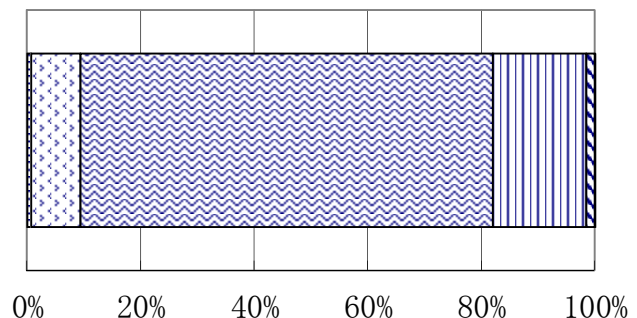
※・・・回答者数(438人)に占める割合



今回の総選挙において、どの候補者又は政党に投票するかを決めるときに参考にしたものについて尋ねたところ、「新聞・テレビ報道」が31.1%（前回：36.8%）と最も多く、次いで「選挙公報」が26.9%（前回：26.1%）、「政見放送」が22.8%（前回：18.8%）、「個人(政党)演説会」が17.1%（前回：11.6%）の順となっている。





問23 国民審査への関心

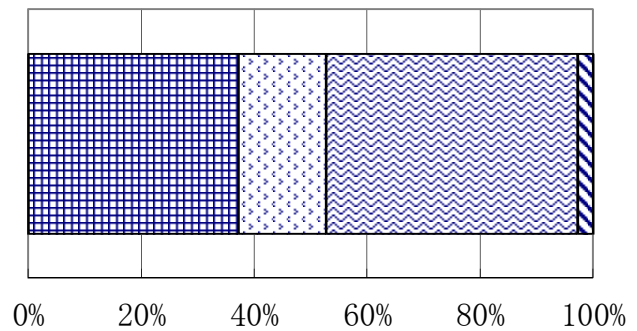
よく調べた	3	0.7%
多少調べた	38	8.7%
全く調べなかった	318	72.6%
投票しなかった	72	16.4%
わからない	0	0.0%
無回答	7	1.6%



今回の総選挙と同時に行われた最高裁判所裁判官国民審査において、審査される裁判官の人物や業績を調べたか尋ねたところ、「全く調べなかった」が72.6%（前回：56.5%）となっており、前回と同様の傾向を示している。

問24 今回の衆院選で明るくきれいな選挙は行われたか

	行われていた	163	37.2%
	行われていない	68	15.5%
	わからない	195	44.5%
	無回答	12	2.7%



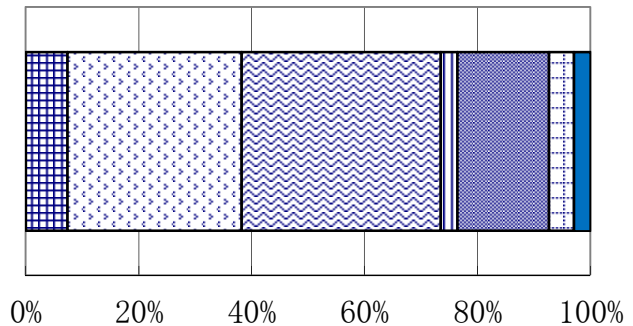
明るくきれいな選挙とは・・・

有権者が主権者としての自覚を持って進んで投票に参加し、選挙が公明かつ適正に行われ、私たちの意思が正しく政治に反映される選挙のことです。

今回の総選挙において、明るくきれいな選挙が行われたか尋ねたところ、「わからない」が44.5%（前回：46.2%）、「行われていたと思う」が37.2%（前回：40.9%）の順となっている。

問26 明るい選挙が行われていない原因

	有権者個人	5	7.4%
	政党	21	30.9%
	候補者や選挙運動員	24	35.3%
	取締りのやり方	2	2.9%
	社会	11	16.2%
	わからない	3	4.4%
	その他	2	2.9%
	無回答	0	0.0%

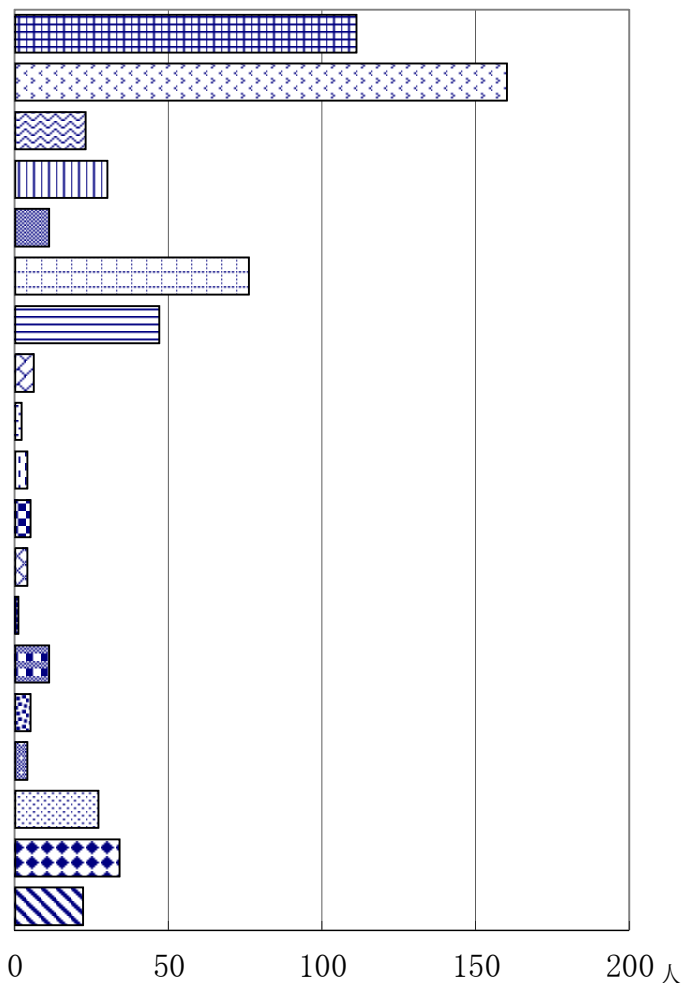


問24で、「明るい選挙が行われていない」と回答した人に、その原因を尋ねたところ、「候補者や選挙運動員に原因がある」が35.3%（前回：16.3%）と最も多く、次いで「政党に原因がある」が30.9%（前回：36.7%）、「社会に原因がある」が16.2%（前回：16.3%）の順となっている。

問25 印象に残る啓発活動（複数回答）（※）

新聞広告	111	25.3%
テレビ広告	160	36.5%
ラジオ広告	23	5.3%
啓発ポスター	30	6.8%
啓発チラシ	11	2.5%
市町村の広報紙	76	17.4%
広報車	47	10.7%
垂れ幕・看板	6	1.4%
コンビニレジ画面広告	2	0.5%
有線放送	4	0.9%
のぼり旗	5	1.1%
ティッシュ配布	4	0.9%
イベント	1	0.2%
インターネット	11	2.5%
プロスポーツ	5	1.1%
その他	4	0.9%
聞きしなかった	27	6.2%
わからない	34	7.8%
無回答	22	5.0%

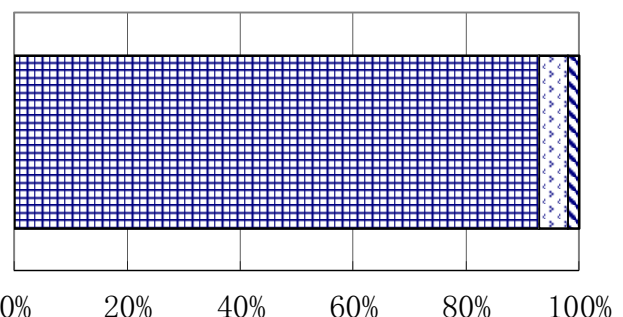
※・・・回答者数(438人)に占める割合



今回の総選挙の際に行われた啓発活動のうち、印象にあるものを尋ねたところ、「テレビ広告」が36.5%（前回：40.0%）、「新聞広告」が25.3%（前回：28.9%）とマスメディアによる啓発活動の印象が高く、次いで、「市町村の広報紙」が17.4%（前回：18.9%）、「広報車」が10.7%（前回：12.6%）の順となっている。






問27 寄附禁止の認知度

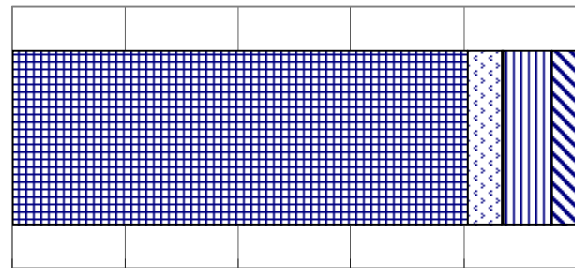
知っている	407	92.9%
知らない	22	5.0%
無回答	9	2.1%



公職の候補者に係る寄附禁止制度について知っているか尋ねたところ、「知っている」が92.9%（前回：92.5%）となっている。

問28 転居する場合に、住民票を異動するかどうか







	異動する	353	80.6%
	異動しない	27	6.2%
	その他	1	0.2%
	わからない	37	8.4%
	無回答	20	4.6%

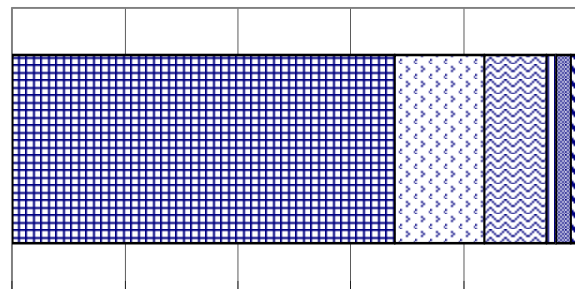


0% 20% 40% 60% 80% 100%

転居する際に、住民票を異動するかを尋ねたところ、「異動する」と回答した人は80.6%となっている。

問29 住民票を異動する理由







	法令上しなければいけないから	239	67.7%
	異動先で選挙をしたいから	56	15.9%
	異動しないと不都合があるから	39	11.0%
	その他	6	1.7%
	わからない	9	2.5%
	無回答	4	1.1%

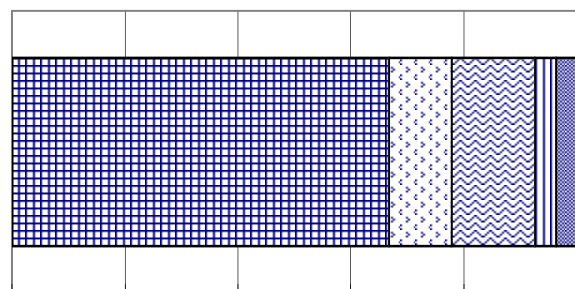


0% 20% 40% 60% 80% 100%

問28で「異動する」と回答した人に、住民票を異動する理由を尋ねたところ、「法令上しなければいけないから」と回答した人は67.7%となっている。

問30 住民票を異動しない理由





	必要性を感じないから	18	66.7%
	異動するのが面倒だから	3	11.1%
	家族が言うから	4	14.8%
	その他	1	3.7%
	わからない	1	3.7%
	無回答	0	0.0%

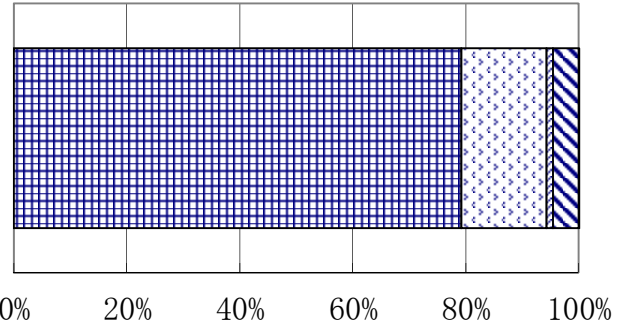


0% 20% 40% 60% 80% 100%

問28で「異動しない」と回答した人に、住民票を異動しない理由を尋ねたところ、「必要性を感じないから」と回答した人は66.7%となっている。








問31 期日前投票制度の認知度

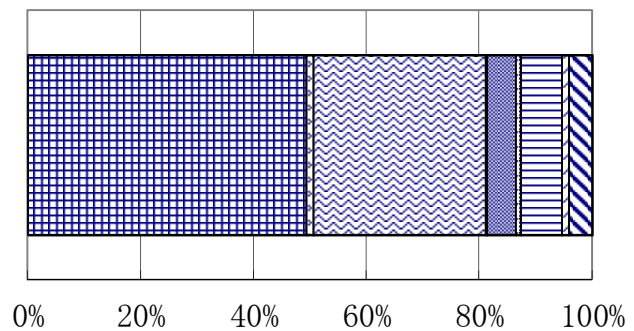
	制度も方法も知っている	347	79.2%
	制度は知っている、方法は知らない	66	15.1%
	知らない	5	1.1%
	無回答	20	4.6%



期日前投票制度を知っているか尋ねたところ、「制度も、投票方法も知っている」と「制度は知っているが、投票方法は知らない」の合計で94.3%（前回：95.2%）となっている。







問32 期日前投票をどのような方法で知ったか

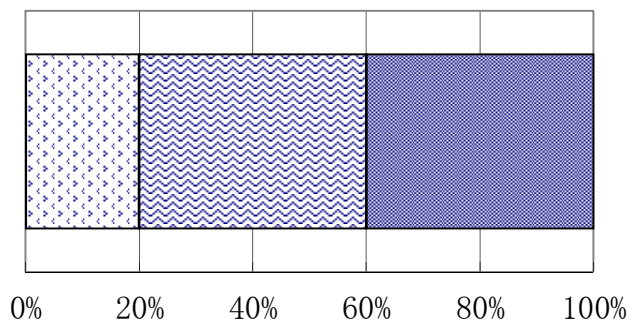
	以前期日前投票した	204	49.4%
	法律を調べた	5	1.2%
	テレビ等	126	30.5%
	インターネット	1	0.2%
	新聞・雑誌	21	5.1%
	ポスター	4	1.0%
	友人・知人から	30	7.3%
	その他	5	1.2%
	無回答	17	4.1%



問31で、期日前投票制度を「知っている」と回答した人に、どのような方法で知ったのかを尋ねたところ、「以前期日前投票した」が49.4%（前回：47.9%）、「テレビやラジオ番組で知った」が30.5%（前回：34.9%）の順となっている。





問33 前もって投票することについて

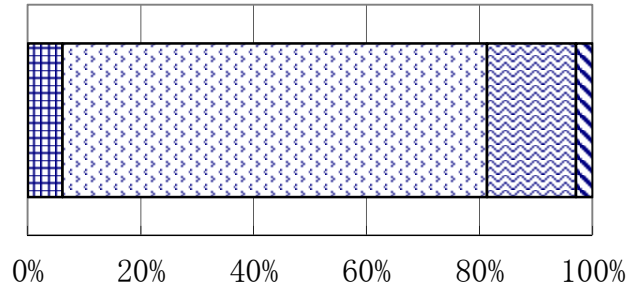
	投票日に限るべき	0	0.0%
	やむを得ない場合のみ	1	20.0%
	どんな理由であれよい	2	40.0%
	その他	0	0.0%
	わからない	2	40.0%
	無回答	0	0.0%



問31で、期日前投票制度を「知らない」と回答した人に、投票日以前に前もって投票することについてどのように思うかを尋ねたところ、「どんな理由であれ前もって投票できることはよいことだ」と考える方の割合が40.0%となっている。





問34 投票時間について

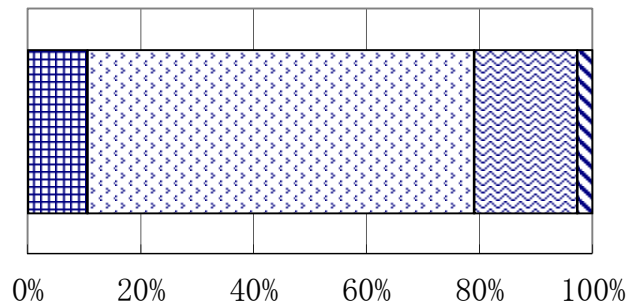
	延長すべき	27	6.2%
	ちょうどよい	329	75.1%
	短くすべき	69	15.8%
	無回答	13	3.0%



午前7時から午後8時までの投票時間についてどのように思うかを尋ねたところ、「ちょうどよい」が75.1%（前回：71.9%）と、前回と同様の傾向を示している。








問35 投票所までの距離

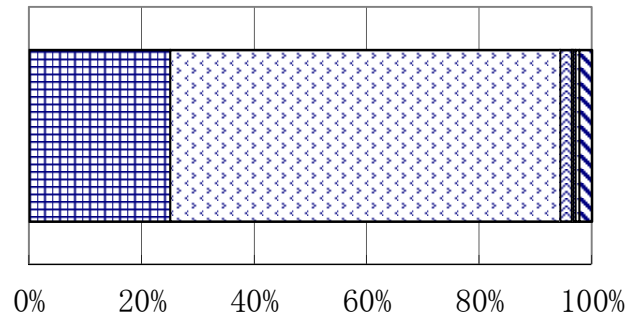
	遠い	46	10.5%
	ちょうどよい	300	68.5%
	近い	80	18.3%
	無回答	12	2.7%



投票所までの距離について尋ねたところ、「ちょうどよい」が68.5%（前回：65.3%）で最も多くなっている。




問36 投票所までの交通機関

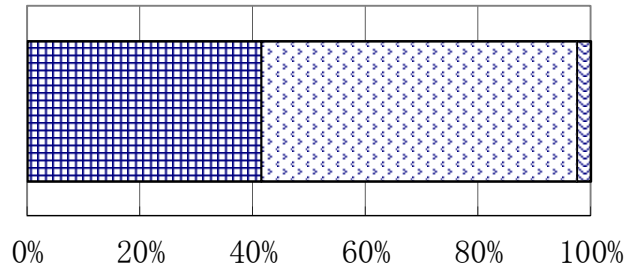
	徒歩	110	25.1%
	自家用車	303	69.2%
	自転車	9	2.1%
	バイク	1	0.2%
	バス	2	0.5%
	その他	3	0.7%
	無回答	10	2.3%











投票所までの交通機関を尋ねたところ、「自家用車」が69.2%（前回：66.4%）で最も多くなっている。

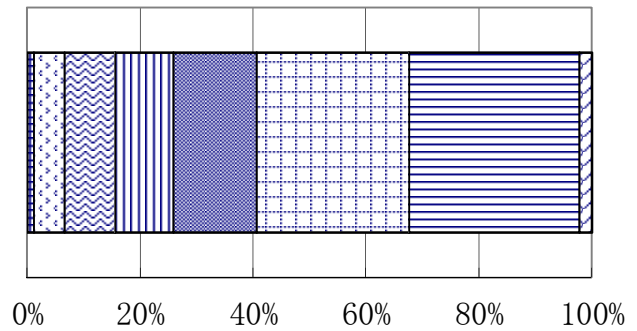
問37 性別

	男	182	41.6%
	女	245	55.9%
	無回答	11	2.5%














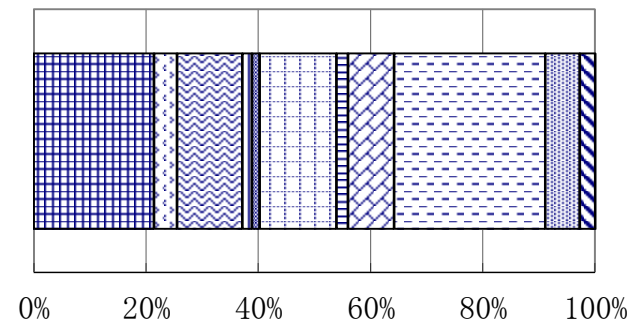
問38 年齢

	18～19歳	5	1.1%
	20～29歳	24	5.5%
	30～39歳	39	8.9%
	40～49歳	45	10.3%
	50～59歳	65	14.8%
	60～69歳	118	26.9%
	70歳以上	132	32.0%
	無回答	10	2.4%



問39 職業

	会社員	94	21.5%
	公務員	18	4.1%
	自営業	51	11.6%
	会社役員	7	1.6%
	自由業	6	1.4%
	専業主婦(夫)	60	13.7%
	学生	9	2.1%
	パート・アルバイト	36	8.2%
	無職	118	26.9%
	その他	27	6.2%
	無回答	12	2.7%



衆議院議員総選挙についての意識調査 調査票

お住まいの市町村名 _____

アンケート項目に対するお答えは、あなたのお考えに最も近いものの番号を○で囲んでください。
なお、お答えが「その他」のときは、その内容を（ ）内に具体的に御記入願います。



問1 あなたは、政治について、どの程度関心をおもちですか。1つだけ選んでください。

- 1 非常に関心がある → 問3にお進みください。
- 2 多少関心がある → 問3にお進みください。
- 3 あまり関心がない → 問2にお進みください。
- 4 まったく関心がない → 問2にお進みください。

問1で、3（あまり関心がない）又は4（まったく関心がない）と答えた方にお聞きします。

問2 政治に関心がないのは、なぜですか。1つだけ選んでください。

- 1 政治は、日常の暮らしに関係がうすいから
- 2 個人の意見が、政治に反映されないから
- 3 政治は、むずかしくてよくわからないから
- 4 忙しく、政治について考えるひまがないから
- 5 政治そのものに、関心がないから
- 6 その他（ ）

再び、すべての方にお聞きします。

問3 あなたは、今の政治にどの程度満足していますか。1つだけ選んでください。

- 1 かなり満足している
- 2 まあまあ満足している
- 3 やや不満である
- 4 かなり不満である
- 5 どちらともいえない
- 6 わからない

問4 あなたには支持する政党がありますか。1つだけ選んでください。

- 1 ある
- 2 ない

問5 平成29年10月22日に行われた衆議院議員総選挙について、あなた自身はどれくらい関心をもちましたか。1つだけ選んでください。

- 1 非常に関心をもった
- 2 多少は関心をもった
- 3 あまり関心をもたなかった
- 4 全く関心をもたなかった

問6 平成29年10月22日に行われた衆議院議員総選挙で、あなたは投票率の増減についてどれくらい関心をもちましたか。1つだけ選んでください。

- 1 非常に関心をもった
- 2 多少は関心をもった
- 3 あまり関心をもたなかった
- 4 全く関心をもたなかった

問7 あなたは選挙での投票について、この中のどれに近い考えをお持ちですか。1つだけ選んでください。

- 1 投票することは、国民としての義務である
- 2 投票することは、国民の権利であるが、棄権すべきではない
- 3 投票するかしないかは、個人の自由である
- 4 棄権も意思表示の一つである
- 5 その他 ()

問8 近年の選挙において、投票率の低下が目立っていますが、このことについて、あなたはどのように思いますか。1つだけ選んでください。

- 1 投票するかしないかは個人の自由であり、別にかまわない
- 2 自分たちの代表を選ぶ選挙なので好ましくないが、やむをえない
- 3 何らかの対策を構じるべきである
- 4 その他 ()
- 5 わからない

問9 あなたは、投票率が低下している理由は何だと思えますか。1つだけ選んでください。

- 1 政治より自分のことを考える人が多いから
- 2 支持できる政党等や候補者がいないから
- 3 有権者の政治への不満や不信のあらわれ
- 4 投票しても政治はよくならないと考える人が多いから
- 5 その他 ()
- 6 わからない

問10 あなたは、投票率を上げるために、どのようなことを行うべきだと思いますか。1つだけ選んでください。

- 1 棄権防止のため、罰則を設けるべきである
- 2 必ず投票する人を表彰するなど、褒賞制度を設けるべきである
- 3 選挙制度の改正などにより、有権者が投票しやすい環境をつくるべきである
- 4 選挙運動を自由にして、選挙への関心や参加を高めるべきである
- 5 政治や選挙に興味をもたせるように、教育や啓発活動に力を入れるべきである
- 6 自然の成り行きにまかせるべきで、何も行う必要はない
- 7 その他 ()
- 8 わからない

問11 あなたは平成29年10月22日に行われた衆議院議員総選挙では、投票しましたか。1つだけ選んでください。

- 1 投票した → 問12にお進みください。
- 2 投票しなかった → 問20にお進みください。

問 12～19 は、問 11 で、1（投票した）と答えた方にお聞きします。

問 12 このたびの衆議院議員総選挙で、投票に行かれたのはどういう気持ちからですか。1つだけ選んでください。

- 1 どうしても当選させたい候補者や、応援したい政党等があったから
- 2 今の政治に不満があり、それを改めたいと思ったから
- 3 政治をよりよくするためには、投票することが大事だから
- 4 投票するのは、国民としての義務だから
- 5 団体、組織、知り合いにたのまれて
- 6 投票日に特に予定がなかったから
- 7 その他（ ）
- 8 わからない

問 13 あなたは、誰と投票に行きましたか。1つだけ選んでください。

- 1 一人で行った
- 2 家族で行った
- 3 友人で行った
- 4 その他（ ）

問 14 あなたの同居しているご家族（あなた以外）は、投票に行きましたか。1つだけ選んでください。

- 1 全員投票に行った
- 2 投票に行った者がいる
- 3 投票に行った者がいない
- 4 単身世帯である
- 5 その他（ ）

問 15 小選挙区の選挙では、あなたは政党等に重きをおいて投票しましたか、それとも候補者個人に重きをおいて投票しましたか。1つだけ選んでください。

- 1 政党等に重きをおいて → 問 16にお進みください。
- 2 候補者個人に重きをおいて → 問 17にお進みください。
- 3 一概にいけない → 問 18にお進みください。
- 4 わからない → 問 18にお進みください。

問 15 で、1（政党等に重きをおいて）と答えた方にお聞きします。

問 16 政党等に重きをおいて投票した理由は何ですか。1つだけ選んでください。

- 1 私はその党の党员だから
 - 2 私はその党の候補者の後援会に入っているから
 - 3 その党の政策や活動を支持するから
 - 4 なんとなくその政党等が好きだから
 - 5 その他（ ）
 - 6 わからない
- 問 18にお進みください。

問 15 で、2（候補者個人に重きをおいて）と答えた方にお聞きします。

問 17 候補者個人に重きをおいて投票した理由は何ですか。1つだけ選んでください。

- 1 小選挙区選挙はとにかく人物が大切だから
- 2 その候補者の後援会に入っているから
- 3 その候補者は識見や実績の点で優れているから
- 4 その候補者は清潔な人だから
- 5 その候補者は安心できる人だから
- 6 職場や団体の関係でその人をすすめられたから
- 7 その他（ ）
- 8 わからない

再び、問 11 で 1（投票した）と答えたすべての方にお聞きします。

問 18 比例代表の選挙についてお聞きします。比例代表選挙で、その政党等に投票した主な理由は何ですか。1つだけ選んでください。

- | | |
|----------------------------|---------------------|
| 1 その党の政策や活動を支持するから | 2 なんとなくその党が好きだから |
| 3 他の党よりましだから | 4 私の支持する人が入っている党だから |
| 5 私の支持する人が党の名簿に載っていたから | |
| 6 全体としてみて、名簿に載った候補者がよかったから | 7 職場や団体の人のすすめだから |
| 8 家族や知人のすすめだから | |
| 9 その他（ | ） |
| 10 わからない | |

問 19 比例代表の選挙で、政党等に投票するにあたって、政党等が出した候補者名簿は投票の判断材料として役に立ちましたか。1つだけ選んでください。

- 1 大いに役に立った 2 ある程度役に立った 3 役に立たなかった 4 わからない
→ 問 21 にお進みください。

問 11 で、2（投票しなかった）と答えた方にお聞きします。

問 20 投票しなかったのはなぜですか。1つだけ選んでください。

- | | |
|----------------------------|------------------------|
| 1 用事があったから | 2 病気やケガのため |
| 3 面倒だったから | 4 選挙にあまり関心がなかったから |
| 5 政策や候補者の人物についてよくわからなかったから | |
| 6 投票したい政党や候補者がなかったから | |
| 7 自分一人ぐらい投票してもしなくても同じだから | 8 投票をしても政治が変わらないと思ったから |
| 9 投票所の雰囲気がいやだから | 10 選挙があることを知らなかったから |
| 11 その他（ | ） |
| 12 わからない | |

再び、すべての方にお聞きします。

問 21 このたびの衆議院議員総選挙の選挙期間中、あなたは候補者や政党等が行った選挙運動にはどのくらい関心をもちましたか。1つだけ選んでください。

- | | | |
|---------------|-------------|----------------|
| 1 非常に関心をもった | 2 多少は関心をもった | 3 あまり関心をもたなかった |
| 4 全く関心をもたなかった | 5 わからない | |

問 22 あなたが、誰（どの政党等に）に投票するか決めるときに参考にしたものはどれですか。2つまで選んでください。（投票しなかった方は、もっとも印象に残っているものを2つまで選んでください）

- | | | | |
|-----------------|------------|-----------------|-----------|
| 1 個人（政党）演説会 | 2 街頭演説 | 3 連呼 | 4 新聞広告 |
| 5 政見放送 | 6 選挙公報 | 7 マニフェスト | 8 ポスターや看板 |
| 9 ビラやはがき | 10 電話による勧誘 | 11 家族の話し合い | 12 近所の評判 |
| 13 友人・知人・親戚のすすめ | | 14 仕事関係の団体のすすめ | |
| 15 町内会・自治会等の推せん | | 16 新聞・テレビ等の選挙報道 | |
| 17 その他（ | | | ） |

問 23 衆議院議員総選挙と同時に、最高裁判所裁判官国民審査が行われましたが、国民審査では、あなたは、審査される裁判官の人物や業績をよく調べましたか。1つだけ選んでください。

- | | | |
|---------|---------|--------------|
| 1 よく調べた | 2 多少調べた | 3 まったく調べなかった |
| 4 わからない | | |

問 24 このたびの衆議院議員総選挙は、山形県内において、全体として**明るくきれいな選挙**が行われたと思いますか。1つだけ選んでください。

- | | |
|---------|------------------|
| 1 思う | → 問 25 にお進みください。 |
| 2 思わない | → 問 26 にお進みください。 |
| 3 わからない | → 問 25 にお進みください。 |

明るくきれいな選挙とは・・・

有権者が主権者としての自覚を持って進んで投票に参加し、選挙が公明かつ適正に行われ、私たちの意思が正しく政治に反映される選挙のことです。

問 24 で、1（思う）又は3（わからない）と答えた方にお聞きします。

問 25 このたびの衆議院議員総選挙で「投票に参加しましょう」という呼びかけを、明るい選挙を推進する民間団体や国や県・市町村で行いましたが、あなたが見たり聞いたりしたものうち、印象に残っているもの、または効果があると思うものを2つまで選んでください。

- | | | |
|---------------------|----------------------|--------------|
| 1 新聞広告 | 2 テレビ広告・CM | 3 ラジオ広告・CM |
| 4 啓発ポスター | 5 啓発チラシ | 6 市町村の広報紙 |
| 7 広報車 | 8 垂れ幕、看板 | 9 コンビニレジ画面広告 |
| 10 有線放送 | 11 のぼり旗 | |
| 12 街頭におけるティッシュなどの配布 | 13 パレードなどのイベント | |
| 14 インターネット、ホームページ | 15 プロスポーツの試合会場における啓発 | |
| 16 その他（ | | ） |
| 17 見聞きしなかった | 18 わからない | |
- 問 27 にお進みください。

問 24 で、2（思わない）と答えた方にお聞きします。

問 26 明るくきれいな選挙が行われていない原因は、どこにあると思いますか。1つだけ選んでください。

- | | | |
|-----------------|-------------|-------------------|
| 1 有権者個人に原因がある | 2 政党等に原因がある | 3 候補者や選挙運動員に原因がある |
| 4 取締りのやり方に原因がある | 5 社会に原因がある | 6 わからない |
| 7 その他（ | | ） |

再び、すべての方にお聞きします。

問 27 公職にある人や立候補予定者が選挙区内の人に寄附したり、選挙区内の人がこれらの人に寄附を求めたりすることは、選挙の時に限らず禁止されています。あなたはこのことを知っていますか。1つだけ選んでください。

- 1 知っている 2 知らない

問 28 あなたが転居することとなった場合、引っ越し先の市町村へ住民票を異動すると思いますか。1つだけ選んでください。

- 1 異動と思う → 問 29 にお進みください。
2 異動しないと思う → 問 30 にお進みください。
3 その他 () → 問 31 にお進みください。
4 わからない → 問 31 にお進みください。

問 28 で、1 (異動と思う) と答えた方にお聞きします。

問 29 住民票を異動すると思う理由は何ですか。1つだけ選んでください。

- 1 法令上異動しなければならないから
2 異動先の市町村において選挙したいから
3 異動しないと不都合があるから (不都合の内容:)
4 その他 () 5 わからない
→ 問 31 にお進みください。

問 28 で、2 (異動しないと思う) と答えた方にお聞きします。

問 30 住民票を異動しないと思う理由は何ですか。1つだけ選んでください。

- 1 異動する必要性を感じないから 2 異動するのが面倒だから
3 家族が地元住民票を残しておくように言うから 4 その他 ()
5 わからない

再び、すべての方にお聞きします。

問 31 選挙では、投票日当日に用事があって投票所に行くことができない方のために、「期日前投票」という制度がありますが、あなたはこの制度を知っていますか。また、投票方法についてはどうですか。1つだけ選んでください。

- 1 制度も、投票方法も知っている → 問 32 にお進みください
2 制度は知っているが、投票方法は知らない → 問 32 にお進みください
3 制度も、投票方法も知らない → 問 33 にお進みください

問 31 で、1 又は 2 と答えた方にお聞きします。

問 32 期日前投票制度について、どのような方法で知りましたか。1つだけ選んでください。

- 1 以前実際に期日前投票をした 2 自分で公職選挙法を調べた
3 テレビやラジオ番組で知った 4 インターネットで知った
5 新聞、雑誌、チラシで知った 6 掲示してあるポスターで知った
7 友人知人から教えてもらった 8 その他 ()
→ 問 34 にお進みください

問 31 で、3 と答えた方にお聞きします。

問 33 投票日の前に、前もって投票することについて、どのように思いますか。1つだけ選んでください。

- 1 投票は定められた投票日に限って行うべきだ
- 2 真にやむを得ない理由がある場合のみ、前もって投票することを認めてもよい
- 3 どんな理由であれ前もって投票できることはよいことだ
- 4 その他 ()
- 5 わからない

再び、すべての方にお聞きします。

問 34 投票時間は、午前7時から午後8時までとなっていますが、あなたは、この投票時間についてどのようにお考えですか。1つだけ選んでください。

- 1 もっと延長すべきだ
- 2 ちょうどよい
- 3 短くすべきだ

問 35 投票所までの距離をどのように思いますか。1つだけ選んでください。

- 1 遠い
- 2 ちょうどよい
- 3 近い

問 36 投票所までの交通手段はどのようなものをお使いですか。1つだけ選んでください。

- 1 徒歩
- 2 自家用車
- 3 自転車
- 4 バイク
- 5 バス
- 6 その他 ()

~~~~~  
ご意見をお伺いするのは以上ですが、この結果を統計的に分析するために、あなた自身のことについておたずねします。

問 37 性別

- 1 男
- 2 女

問 38 年齢

- 1 18～19歳
- 2 20～24歳
- 3 25～29歳
- 4 30～39歳
- 5 40～49歳
- 6 50～59歳
- 7 60～69歳
- 8 70歳以上

問 39 あなたのおもなご職業は何ですか。1つだけ選んでください。

- 1 会社員
- 2 公務員
- 3 自営業
- 4 会社役員
- 5 自由業
- 6 専業主婦 (夫)
- 7 学生
- 8 パート・アルバイト
- 9 無職
- 10 その他 ( )

御協力、誠にありがとうございました。

